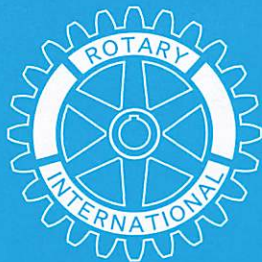


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 樫尾 富二
幹事 大谷 恩
広報・会報委員長 萩原 喜代子

No. 34

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

2015～2016年度

RI会長
K.R.ラビンドラン

今日の例会

第1590回 平成28年 4月12日(火)

6RC 合同例会

ホスト：名古屋名東ロータリークラブ
名古屋国際ホテル

先回の例会

第1589回 平成28年 4月10日(日) 晴

春季家族会

◆出席報告

会員 38(29)名 出席 14名

出席率 48.28%

前々回 4/5(修正出席率) 93.55%

ご家族参加 16名

ビジター数(4月5日) 46名

大谷幹事報告

1) 次回例会は12日(火) 12:30より6RC合同例会です。名古屋国際ホテルでの例会になりますのでお間違いないでご出席の程よろしくお願い致します。

樫尾会長挨拶



本日は大垣、西濃地区への春季家族会です。4月になり季候も良く桜の季節となりました。先程は犀川の堤防沿いの約1,000本のソメイヨシノの桜並木を通ってきました。満開の時期を少し過ぎ、先週の雨で桜の花も少し散りかけていましたが、風情は満点でした。そして大垣市墨侯町に再建された

「墨侯一夜城」を見学してきました。戦国時代、織田信長が岐阜攻めのためこの地に城を築こうとしましたが、敵に攻められなかなか完成に至りませんでした。そこで命を受けた木下藤吉郎(後の豊臣秀吉)が一夜にして城を築いたと言われていました。実際には14日間での完成ですが、敵と戦いながら柵を囲いを廻らし、櫓を造り上げたとのこと。藤吉郎が天下人になる出発点として知られています。

そして、養老町のここ「司」でおいしい飛騨牛のコースをいただくことになりました。とろけるような特選の養老ミートです。お好きなアルコールと共に存分にお召し上がりいただきたいと思います。

その後は「奥の細道」をまとめた俳人の松尾芭蕉が元禄時代に江戸の深川を出発し、東北、北陸を巡り約150日間を経てその旅の結びとしたという大垣の地を訪れます。「奥の細道結びの地記念館」があります。

そして大垣城の外堀の水路を6人乗りの船で情緒豊かにゆったりと船下りを楽しんでいただく予定となっています。救命着を付けて乗りますがアルコールを飲み過ぎて川へ落ちたりしないようお気を付けいただきたいと思います。

4月になって会長職もあと3ヶ月となりました。第4コーナーを回って直線コースに入ったところかと思えます。スピードを競ってゴールする必要もありません。落馬しないよう皆様の応援を得ながらゴールまで少しずつ進んでいきたいと思っています。6月の最終例会までよろしく願いいたします。

三好親睦委員長挨拶

本日ご出席の会員の皆さん、またご家族の皆様にも多くご参加頂きありがとうございます。

お天気にも恵まれ、若干花曇りではありますが風情ある名残の桜を楽しんで頂けると幸いです。

この後もお食事 舟下りと、親睦を深め楽しい1日を過ごして頂きますよう宜しくお願い致します。



永禄9年(1566年)木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜にして築いたと伝えられる墨侯一夜城と満開の桜



墨侯一夜城展望室から 絶景墨侯 犀川堤防沿いの桜



舟下り

水門川を約 1.1km ゆったりと下ります。川沿いの約100本の桜を眺めながらの川下りは格別です。



先々回の例会

第1588回 平成28年 3月29日(火) 晴

友愛の日

黙禱 会員 尾関 武弘君を偲んで

◆それこそロータリー

◆四つのテスト

◆ビジター紹介

◆ゲスト紹介

米山奨学生
ご家族

4名

グエン チャン 様

グエン ミン チュオン様

チャン ティ キム サン様

グエン フーン タオ チャン 様

◆出席報告

会 員 39 (31) 名 出 席 21 名

出席率 67.74 %

前々回 3/8 (修正出席率) 93.75%

◆4月会員誕生日

牧野 登志子さん(4/15)

和田 正敏君(4/28)

◆4月夫人誕生日

竹内 眞三夫人(4/27)

◆4月結婚記念日

宮尾 絃司君(4/14)

鈴木 理之君(4/14)

太田 和孝君(4/16)

和田 正敏君(4/18)

伊藤 健文君(4/19)

加藤 重雄君(4/21)

小林 英毅君(4/23)

大谷 恩君(4/24)

山本 眞輔君(4/24)



おめでとうございます

大谷幹事報告

- 1) 次週 4月5日は、10日(日)の春季家族会に例会変更しております。5日(火)の例会はございません。次回例会は12日の6RC合同例会になります。名古屋国際ホテルが例会場になりますのでお間違いなくお願い致します。日時変更なし
- 2) 本日記布ご案内: 4月例会内容 ロータリーの友
- 3) 4月のロータリーは1ドル=116円 今月と変更なし

樫尾会長挨拶



本日は友愛の日で、米山奨学生のグエン・フーン・トウイ・チャンさんが出席される最後の例会となります。ベトナムからお父様のグエン・ミン・チュオンさん、お母様のチャン・ティ・キム・サンさん、妹様のグエン・フーン・タオ・チャンさんも出席されています。

米山記念奨学生は日本で学ぶ私費の外国人留学生のうち、将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を選抜し、奨学金を支給しています。グエン・チャンさんは南山大学大学院で経営学を専攻しており成績優秀で、2760地区の米山奨学生約30人の一人として2015年4月に選抜されました。修士課程の奨学生には毎月14万円の奨学金が授与されます。チャンさんを千種ロータリークラブがお世話することになり、小山雅弘さんが1年間のカウンセラーを引き受けられました。

チャンさんはこの度1年間の米山奨学生を終え、無事南山大学大学院修士課程を修了され、3月26日(土)ロータリー有志により覚王山の揚輝荘にある聴松閣で歓送会が行われました。ここは松坂屋の創業者第17代伊藤次郎左衛門氏が東南アジアの留学生を招いて育てたという由緒ある施設です。チャンさんの手料理も振る舞われ、アルコールも少し入ってチャンさんの本音、今後の抱負も披露されました。4月からは就職してベトナムと日本の各種事業の応援、企業の進出援助、農業の発展支援等にも尽力したいとの決意でした。名古屋の会社とのことですので、就職後も機会を見つけて千種ロータリーに顔を出していただきたいと思います。

ロータリー活動の良き理解者として、日本とベトナムの、そして世界との架け橋として今後も活躍されることを祈っています。会長挨拶とさせていただきます。

◆卓話

米山奨学生 グエンチャンフントウイさん



皆様、こんにちは。
あっという間一年が経ちました。
長いようで短い一年間は大変お世話になりました。
遅くなってしまいましたが、博士前期課程を無事に修了しました。
卒業できました。

ロータリー米山奨学生として選ばれ、貴重な奨学金をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

この一年間は名古屋千種ロータリークラブで皆様と出会いのおかげで、様々な方々と交流でき、いろいろなことも体験できました。皆様に愛されて、何よりとても幸せです。心より感謝しております。そして南山大学で高度の専門的知識や経験を有する教師、異なるバックグラウンドを持つ学生達との交流を行うことで、確実に実務の知識を習得し、そして経営学専攻で、特にマーケティング論及び人事管理の研究をしました。
卒業論文のテーマは「ベトナムにおける日系企業の人事管理問題・異文化の壁の解決」について研究した。この研究テーマではまず、人事管理の大切さを再認識します。そして、日系企業管理者や社員の方々に経験に基づいた事例を収集し、ベトナムにおける日系企業は今までベトナム人と日本人の考え方、習慣の違う点で、どのような人事管理の問題が起きたのか、その問題は企業の発展にどのような影響を与えたのかを分析することにより、それにどう対応したか、そしてどのような教訓が得られたかという結果を追及した。

この研究テーマを通じて、ベトナムの社会規範、価値観などについて理解と異文化意識を高めることで、自分により成長できるものと考えます。さらに、「どのようにすれば両国民が相違を乗り越え、お互いに理解し合い、スムーズに仕事をする事が出来るのか」という設問に答えることで、両国の関係強化に貢献したいと思います。さらに、学校で勉強するだけでは足りないと考えて、アルバイトをし、実際の経験を得ることもしました。さらに、そのおかげで、貯金ができ、今回両親と妹を日本に招待することもできました。両親はとても喜んでいます。

それに、時間を作り、色々なボランティア活動を続けました。まだ少ないですが、それらの活動で、お金が無く学校に行けない小学生のための基金に少し寄付できました。これからも続けたいと思います。

ロータリー米山奨学生として選ばれた私は言葉にならないくらい嬉しかったです。選ばれたことは貴重な経済的なサポートだけではなく、私の精神面も支えるのです。留学生活を送り、様々な国や地域の文化・習慣、考え方に触れることができ、色々なことを体験して、少しずつ成長しています。自信を持ち、自分の夢や憧れに向かって頑張ります。

最後にもう一度心より感謝の気持ちを申し上げます。

2016年3月29日

NGUYEN PHUONG THUY TRANG



チャンさんとご家族の皆さんを囲んで



チャンさん卒業おめでとうございます

訃報

トーワ株式会社
取締役会長 尾関 武弘 君

3月27日(日)
ご逝去されました
享年 81歳



昭和58年2月1日ご入会
2000~01年度19代会長を
務められました

謹んで心よりご冥福 お祈り申し上げます

4月は「母子の健康」月間です

《ガバナー月信 4月号より》

◇母子の健康」月間に寄せて

地区副幹事 野田 正治

母子の健康の月間はRIで今回新たに提唱されました。

「母子の健康」はRIの重点分野のひとつです。

具体的には「5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間として位置付けられたものです。この分野においては、世界的に途上国においては母子の健康として特にワクチンが喫緊の課題となっています。

皆さんもよくご存知のように、最近の話題として南アメリカ諸国、とりわけブラジルにおいて妊婦が感染すると小頭症の子供が生まれるジカ熱の発生があります。蚊が媒介するウイルスですので蚊自体を完全に撲滅することは不可能です。従ってウイルスの特徴から非常に困難ではありますが、近い将来このジカ熱に対するワクチンが開発されることは十分に期待されます。このワクチンが開発された時にこそワクチンの普及にロータリーの役割があるものと考えられます。

また、これまでロータリーが取り組んできたポリオ撲滅についても紛争の続く国での今後の解決次第ではありますが、ロータリーの努力によって根絶される日は近いものと考えられます。

一方、世界的に新生児死亡率は途上国では相変わらず高く、最も新生児死亡率が高い国はアンゴラで1000人の出産当たり47人(4.7%)です。それに対し日本の新生児死亡率は1000人出産当たり1人(0.1%)で、シンガポール、アイスランドなどとともに世界トップクラスの医療環境があります。しかし、新生児死亡が減少すると多くの子供たちの命が救われる一方で、以前はとても助からなかった超低出生体重児や複雑な先天性疾患を持った子供たちが助かるようになってきました。非常に賞賛すべきことではありますが、その反面には心身に障害を持って生まれてくる子供たちが増加し、その子供たちが生涯にわたって医療的ケアを必要とするという皮肉な面もあります。知的障害と身体障害が重なっている子供たちを重症心身障害児と呼びます。

我が国では重症心身障害児者(大人になれば「者」と呼ばれるためこのように表現します)は正確な数字は不明ですが3万8000人と推計されています。今後、先進国の問題はこの重症心身障害児に対する支援が重要になってくるものと考えられます。

以上を単純化すれば、母子の健康については途上国に対してはワクチン、先進国においては重症心身障害児者への支援がロータリーにとっての支援目標であると考えられます。各クラブにおかれましては、このような視点で支援を考えていただければと思います。



ニコボックス

小山 雅弘

先日のチャンさんの歓送会では、榎尾会長・碓氷さん・事務局の加藤さんはじめ皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

もう一つ、グリーンジャンボ宝くじ1等前後賞あわせて6億円の組違いで10万円が当たりました。

6億円は44組、私のは、43組でした。残念!

加藤 重雄

会員誕生日お祝い
ご夫人誕生日お祝い

小林 英毅

結婚記念お祝い

太田 和孝

結婚記念お祝い

大谷 恩

結婚記念お祝い

鈴木 理之

結婚記念お祝い

萩原喜代子

榎尾 富二

柵木 充明

松岡多加倫

三好 親

鍋野 可幸

西川 豊長

大口 弘和

太田 和孝

佐野 寛

鈴木 理之

鈴木 聖三

竹内 眞三

舎人 経昭

碓氷 美佳

渡邊 源市

チャンさん卒業おめでとう

計 20件

合計58,000円



ご案内

冊子「ロータリーの歴史に学ぶ」

1冊 ¥864(消費税込) 送料実費

(クラブ単位でまとめて発注されますと送料が安くなります)

発注: 原則としてFAX(裏面)をご利用ください。

請求書: お送りする冊子に同封いたします。

お問い合わせ: TEL 06-6945-1800

(月、水、木、金曜、10:30~16:00)

Mail midori-rc@george24.com

推薦書

ロータリーの誕生から現在までの歴史を丁寧に検証し、1920年代の大発展期における二つのservice論の対立、活動方針の一本化を巡る葛藤、そして定款Objectsの改訂に繋がる歴史に新しい観点から焦点を当てて、ロータリーの過去と未来を考える資料として大いに参考になります。

本書は3部からなり、一つ一つの項目は会長の時間にちょうど良い長さ、シリーズでまとめると卓話にちょうど良い長さ、そして週報にも採用できる見事な構成になっているので、読者のロータリアンご自身だけでなく、クラブ内の討議に活用されることを望みます。(本書記事より)

第2660地区2014~15年度ガバナー 泉 博朗

ご挨拶

歴史の中には、当時の人々が胸を張って語りた事柄と、できればそっとしておきたい事柄とがあり、また、後世の人々の脳裏に深く刻まれている事象と、すでに忘れ去られている事象とが混在しています。

私たちのクラブでは、ロータリーの歴史を例会毎に短時間で学ぶプログラムを実施してきましたが、そこでは国内で殆ど取り上げてこられなかった話題や、国際ロータリーでも忘れられている問題を取り上げました。この冊子はその時々々の話題をまとめたものです。皆様方の歴史認識を整理するための新しい資料として活用くださることを願っています。

東大阪みどりロータリー・クラブ2015~16年度会長 西村俊彦

次回例会

平成28年4月19日(火) 12:30

3階

錦の間

友愛の日